

**【事務事業調査】**

事務事業名	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー活用事業費	予算科目 コード	会計-款-項-目-事業 001-10-01-02-003-03-03-0	
担当部課	教育部 こどもみらい課	担当 係長	学校教育担当 福田 和則	事業の分類 既存事業

**■事務事業の概要**

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?	
計画	H23 事後 評価	児童生徒や保護者の悩みに対して、学校現場と家庭との間に入り相談を受け、その他の支援機関とも連携を取りながら、児童生徒にとって望ましい教育環境や家庭環境について話し合いを進め、支援を行いました。	児童生徒に対する相談のほか、保護者及び教職員に対する相談、教職員等への研修、事件・事故等の緊急対応における被害児童生徒の心のケアなど、多岐にわたって学校の教育相談体制に大きな役割を果たすことができます。
	H25 事前 評価	近年のいじめの深刻化や不登校児童生徒の増加など、児童生徒の心の在り様と関わる様々な問題が生じています。児童生徒や保護者の抱える悩みを受け止め、学校におけるカウンセリング機能の充実を図るため、臨床心理に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを配置します。	学校ではカバーし難い児童生徒が抱える問題に対応し、教育相談を円滑に進めるための潤滑油・仲立ち的な役割を果たすことができます。 また、就学児の事前調査によって、学校入学後の配慮児への早期対応が可能となります。 なお、スクールカウンセラーが個々の内面にアプローチして直接支援するのに対して、スクールソーシャルワーカーは個々をとりまく環境にアプローチして包括的に支援を行います。
実績			

**■活動指標**

指標	目標値	達成値	特記事項
相談件数	1,500件		

**■事業費(計画)**

【単位:千円】

番号	細 節	金 額	積 算 根 拠
1	報酬	5,196	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー 各1名 月額216,500×12月×2名
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
		5,196	

**■事業費(実績)**

【単位:千円】

番号	細 節	金 額	特 記 事 項
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
		0	

**■事業経費**

		計 画 【千円】	実 績 【千円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	5,196		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	5,196		